



愛知工業大学
経営学部教授

後藤 時政氏

オープン カレッジ

ごとう ときまさ 技術経 程終了。博士(工学)。19
営論、知財戦略論。金沢大学 68年生まれ。
大学院自然科学研究科博士課

特許出願時に特許庁に提出される書類のうち、特許請求の範囲に記載される請求項とは、特許を受けようとする一つまたは複数の発明を簡条書きにしたものである。前回述べたように、出願の8割以上が受ける拒絶理由を解消するため特許請求の範囲を補正する際、新規事項の追加に当た

る補正が許容されていないことを考えれば、出願当初より請求項の数は多くした方がよいであろう。ただし、特許取得に係る費用は、出願審査請求時には手数料(印紙代)168000円+(請求項の数×4

特許取得費用と良質な出願

千円)、登録時にも2300円している企業はそれらの平均(請求項の数×200円)×3年分といったように、請求項の数によって変動するため、出願人としてはどれくらいの2785社もあった。また、50を超える企業は29社、中には1855という強者もあった。平均的な請求項の数は7.2であった。

請求項多めが少額で有効

費用項目	請求項			
	1	4.5	8.5	1855
出願手数料(印紙代)	¥15,000	¥15,000	¥15,000	¥15,000
審査請求料(印紙代)	¥172,600	¥186,600	¥202,600	¥7,588,600
特許料1年目~3年目	¥7,500	¥9,600	¥12,000	¥1,119,900
特許取得までにかかる費用	¥195,100	¥211,200	¥229,600	¥8,723,500
特許料4年目~6年目(毎年)	¥21,300	¥28,050	¥34,050	¥2,803,800
特許料7年目~9年目(毎年)	¥65,700	¥70,950	¥76,950	¥2,846,700
特許料10年目~25年目(毎年)	¥683,100	¥702,350	¥724,350	¥10,880,100
特許権の終了までにかかる費用	¥965,200	¥1,012,550	¥1,064,950	¥25,254,100

前回筆者らは、企業の特許出願方を、明細書のページ数と出願方策を計るために考案したフレームワーク、すなわち公開特許公報に掲載されている特許出願企業を、その企業で作成した明細書のページ数(複数あるときはそれらの平均)と出願頻度により4つの領域に分類した特許出願方策診断マトリックスを紹介した。筆者らは、特許出願に対する方策が最も悪いと判断される、明細書のページ数、出願頻度とも少ない領域に属する企業を知的財産中小企業として重要視しているわけであるが、知的財産中小企業の一出願あたりに記載する請求項の数の平均は4.5であり、一設けるべきである。

方、明細書のページ数と出願頻度とも多い領域に属する企業が一出願あたりに記載する請求項の数は8.5であった。請求項が1、4.5、8.5、1855の場合について、特許取得までと特許権終了までにかかる費用をわかりやすく表にしてみた。1855と極端な場合はさすがにこれら5と8.5では特許取得までの費用に差が表れるが、4.5と8.5では特許取得までの費用で18400円、特許権の終了までに係る費用で52400円と比較的少額に留まる。これくらいの差であれば、良質な特許出願をすなわち、十分な数の請求項を

